

学生委員会による 地域支援活動

この秋は新型コロナウイルスの感染者数はやや落ち着きを見せたことで、本校学生委員会による活動をいくつか実施することができました。

10月22日～24日の3日間で行われた登別国際観光コンベンション協会による鬼火火では、会場の整理や設営撤収等の活動を協力。またホテルで清掃などの臨時アルバイトとしても活動しました。

11月2日には、国際ソロプチミスト登別と製作を進めていたオリジナルマスクケースが完成し、登別国際観光コンベンション協会へ贈呈式が行われました。今後、市内で約1千300枚配布さ



若いチカラが登別の未来を創る

日本工学院北海道専門学校



れる予定です。

また、11月3日にはBeSmile クリーンアッププロジェクト in Noboribetsuへ参加。本校の学生40名以上が驚別・大和・幌別の3エリアの海岸を清掃しました。

本校では今後も、積極的に地域への支援・貢献活動を続けていきます。

オープンキャンパス + 体験入学

日時 12月19日(日)10時30分～14時30分

※中止や一部内容を変更する場合がありますので、同校ウェブサイトをご確認の上、参加してください。

問い合わせ 入学広報室
(☎0120-666-965)



今月の新着図書

市立図書館

☎04324

ほん

妻から哲学

土屋 賢二 著



妻が悪いから哲学に走ったのか、哲学に走ったから妻が悪くなったのか。24年にわたる週刊誌での連載から選りすぐった、「妻に至る病」「ツチヤの弁明」など5つのテーマで編まれた、著者初のベストエッセイ集です。

◇涅槃 上・下 垣根 涼介 著

◇本が紡いだ五つの奇跡 森沢 明夫 著

◇ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー-2 プレイディみかこ 著

こどものほん

なぜ、穴を見つけるとのぞきたくなるの？

石川 幹人 著



虹の「ふもと」には行けないのか。「ふつう」って誰が決めるのか。突飛なように根源的な子どもの50の質問に、広い学問領域に精通した科学者がわかりやすく答えます。

◇ともだちのいろ きくち ちき 作・絵

◇ふしぎ駄菓子屋銭天堂 16 廣嶋 玲子 作

◇わたしたち パロマ・バルディビア 作

※図書館では、毎月購入している本の全リストを差し上げています。ご利用ください。



不用品ダイヤル市

申し込み・問い合わせ

登別消費者協会 (☎08307)

火～金曜日 (祝日を除く) 10時～15時

※12月24日(金)～令和4年1月6日(休)は年末年始のため休みます。

※申し込みは、市内に居住する方が対象で、登録期間は6カ月です。継続希望の場合は、再度申し込みください。

※無料に限ります。

▶登録できないもの

衣類、食料品、貴金属、美術品などの高価なもの、自動車、バイク、船、傷みの激しいものやあつせん品としてふさわしくないもの

ゆずります

- ロデオボーイ ●加湿器 ●漬物用ホーロー容器 ●米びつ (10㍻、金物) ●シャーレ (12㍻、ガラス製)
- 座卓テーブル ●座布団 (10組) ●ひな人形 (7段)
- 子ども用自転車 (14～16㍻、20㍻、各1台) ●子ども用一輪車 ●室内用灯油タンク (30㍻) ●すり鉢 (33㍻) ●クリスマスツリー (1.6㍻)

ゆずってください

- 枕木 (3本位) ●フットマッサージャー ●長イス (肘掛けなし) ●ベビーベッド ●ラジカセ ●ビデオデッキ